

公益社団法人 青年海外協力協会 (JOCA)

# 2023年度新卒採用 募集要項



青年海外協力協会は、  
日本を  
「ごちゃまぜ」に  
します。

## Mission JOCA

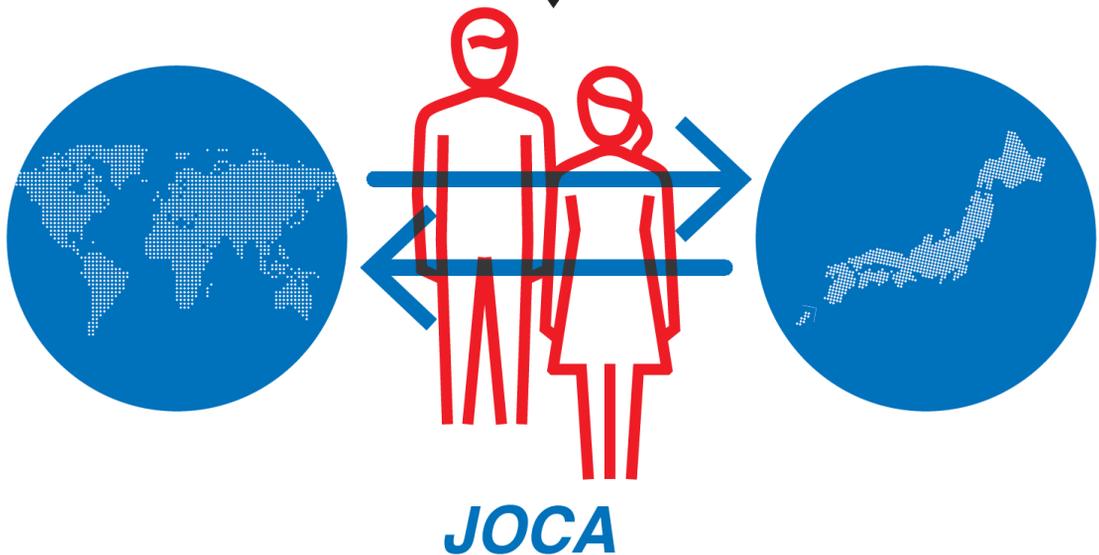
日本は世界にさきがけて  
少子高齢化、経済規模の縮小という課題に直面しています。  
誰も経験したことのない局面に向き合い、  
それを乗り越えることが  
私たち、青年海外協力協会 (JOCA) のミッションです。

# 青年海外協力隊から

わたしたちは日本にコミットします

# 生涯協力隊へ

私たちが世界から学んだことへのお返しをする番です。



日本は世界にさきがけて少子高齢化、経済規模の縮小という課題に直面しています。誰も経験したことのない局面に向き合い、それを乗り越えることがわたしたち、青年海外協力協会（JOCA）のミッションです。

青年海外協力隊経験者が中心となって設立されたJOCAは、JICA海外協力隊の育成や支援を行うとともに、わたしたちが途上国支援で培った経験やノウハウをもって国内で社会に貢献するため、日本各地の拠点において地域づくりに取り組んできました。国内でのわたしたちの活動は今後、社会の変化によって様々な問題が生じるであろう諸外国にとっての解決のモデルになると自負しています。

私たちが世界から学んだことへのお返しをする番です。

日本から世界へ、世界から日本へ。そして再び世界へ。

新たな時代における青年海外協力隊、すなわち生涯協力隊として、わたしたちは地域と人々の暮らしに貢献していきます。

# SDGs — わたしたちは「ごちやませ」で応えます。

## JAPAN WAY

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

## わたしたちはSDGs=人を幸せにするしごと

青年海外協力協会がこれまで取り組んできたSDGs。

「貧困をなくそう、飢餓をゼロに、すべての人に健康と福祉を」など、

様々な目標を実行していくにあたって、縦割りを越え、多くの人や組織と連携して、国際支援や地方創生の事業を展開してきました。

SDGsは人を幸せにすること。それがわたしたちのしごとであり、世代の違いも、障害や疾病の有無も、国籍の区別も、

それらを「ごちやませ」にして地域で暮らす。そうしたコミュニティづくりをわたしたちは「JAPAN WAY」として、世界に広げていきます。

### 沿革

- 1983年 社団法人青年海外協力協会設立
- 1995年 阪神淡路大震災発生後、近畿OB会のボランティアを派遣
- 1996年 近畿支部を京都市内に設置
- 1998年 事務所が港区南麻布から渋谷区のJICA広尾訓練センター内へ移転
- 1999年 天皇皇后両陛下、JOCA実施の「協力隊紹介ワークショップ」ご視察
- 2001年 中国支部を広島市内に設置
- 2002年 ザンビアで「カナカタンバ新開拓農村」プロジェクト開始
- 2003年 イラン南東部地震発生(国際緊急援助隊に4名を派遣)
- 2004年 スマトラ沖大地震発生(国際緊急援助隊に16名を派遣)
- 2005年 青年海外協力隊発足40周年事業支援  
JOCA マラウイ農民自立支援プロジェクト開始
- 2006年 浦安市国際センターの指定管理業務開始
- 2007年 東大・阪大への委託による海外ボランティア事業に関する調査研究事業開始
- 2008年 名古屋市内に中部支部を開設  
ミャンマーにおけるサイクロン被害、中国・四川大地震発生(国際緊急援助隊にそれぞれ2名、4名を派遣)
- 2009年 緊急アピール「青年海外協力隊を国家戦略とする」を臨時評議会にて採択一致し、外務大臣に手交  
台湾における台風被害、インドネシア西スマトラ州バダン沖地震、ハイチ大地震発生(国際緊急援助隊にそれぞれ1名、5名、3名を派遣)
- 2010年 パキスタンでの洪水(国際緊急援助隊に4名を派遣)
- 2011年 東日本大震災発生、災害救援専門ボランティアを派遣し、救援・復興支援を開始  
神奈川県立地球市民かながわプラザ(愛称:あーすぷらざ)指定管理者事業開始  
宮城県岩沼市と協定を結び、仮設住宅サポートセンターの運営業務を開始。長期にわたり被災地支援にあたる国内協力隊員と調整員を配置
- 2012年 公益社団法人に移行(2月)  
モンゴル国バドミントン選手団による東日本大震災被災地支援事業  
本部事務所を半蔵門に移転  
沖縄事務所を開設(6月)
- 2013年 JOCA-アフリカ連合委員会 国際ボランティア連携事業開始  
復興庁・JOCA・JICAの三者連携により、東日本大震災の被災地に青年海外協力隊経験者を派遣開始  
三重県鈴鹿市と大規模災害時の外国人支援の協定を締結  
「マラウイ玄米粉学校給食プロジェクト」を開始  
フィリピン台風被害(国際緊急援助隊に5名を派遣)
- 2014年 広島県広島市で発生した土砂災害に対し、中国支部及び広島県OB会が災害ボランティアセンターの運営を支援  
アフリカ連合委員会連携国際ボランティア事業第3陣5名が活動  
青年海外協力隊および青年海外協力協会・協力隊を育てる会が販売国際協力賞特別賞を受賞
- 2015年 沖縄事務所がグローバル人材養成講座「おきなわ世界塾」を開始  
宮城県岩沼市と「まち・ひと・しごと創生に関する協定」を締結  
社会福祉法人佛子園と「地方創生にかかる包括連携協定」を締結  
JICA国際協力感謝賞を受賞  
青年海外協力隊を題材とした映画「クロスロード」を製作
- 2016年 熊本地震発生、多くの帰国隊員と共に益城町の避難所運営を支援  
青年海外協力隊が「ラモン・マグサイサイ賞」を受賞
- 2018年 本拠を長野県駒ヶ根市へ移転  
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に言語ボランティア担当として職員を長期派遣  
佛子園とのJVによる「輪島 KABULET」拠点施設が開設
- 2020年 広島県安芸太田町にJOCA×3「月ヶ瀬温泉」が開設
- 2021年 宮城県岩沼市にJOCA東北「IWANUMA WAY」拠点施設が開設

### 役員

代表理事・会長	雄谷 良成 (昭和61年・ドミニカ共和国・雙葉)	理事	星 美次 (昭和53年・リベリア・配管)
業務執行理事専務理事	堀田 照茂 (平成2年・ネパール・都市計画)	理事	上田 繁 (平成9年・マラウイ・電気工事)
業務執行理事常務理事	北野 一人 (昭和58年・モルディア・水泳)	理事	中島浩司 (昭和61年・ガーナ・建設施工)
業務執行理事常務理事	宮本 一成 (昭和62年・ヨルダン・システムエンジニア)	監事	上坂とよ子 (昭和59年・ネパール・家政・調整員ネパール)
業務執行理事事務局長	堀田 直輝 (平成10年・ジンバブエ・青少年活動)	監事	樋川岳男 (平成8年・トンガ・珠寶・調整員ガーナ)

## 募集要項

---

応募人数	10名程度
募集職種	総合職 ※当会では、保育士、社会福祉士、看護師、管理栄養士(栄養士)等、専門職の資格を持つ方も総合職として活躍いただいています。
応募資格	2022年4月～2023年3月の間に短期大学、大学、大学院(修士、博士)のいずれかの課程を新規に卒業/修了(あるいは同見込み)の方。
勤務地	国内拠点7か所のほか、北海道、東京都内等、当会がプロジェクトを進める地域。概ね3～4年のローテーションで異動があります。
勤務時間	1日の所定労働時間 8時間 配属場所によって時間は異なります。
給与	給与 初任給例 短大・専門学校卒業 175,000円 大学卒業 200,000円 大学院修士課程修了 210,000円
各種手当	・住宅手当(最大25,000円 ※世帯主の場合) ・扶養手当(規程による) ・時間外手当(標準労働時間を超えた分に関しては全額支給) ・資格手当(※資格活用部署に配属の場合) (看護師/10,000円 社会福祉士5,000円 保育士/5,000円 など) ・交通費支給(当社規定による)
賞与	あり 年2回(6月 12月)
昇給	あり 年1回
休日・休暇	年間休日125日(部署によってシフト制勤務) ボランティア休暇、リフレッシュ休暇、年次有給休暇、慶弔休暇、産前産後休暇・育児休暇
保険・年金	健康保険(協会けんぽ)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
各種待遇	若手のキャリアアップ支援、トライアル制度 青年海外協力隊の現職参加支援

---

## 申し込み方法/業務イメージ

選考方法	一次選考 書類選考(小論文) 二次選考 書類選考(SPI) 役員面接(個人面接)	
提出物	履歴書(指定様式) 小論文(指定様式) 各種資格証明書の写し(所持している方のみ、運転免許証は不要) 健康診断書(一次選考合格者のみ面接時に持参・3ヶ月以内に受診したもの)	
スケジュール	[第1回選考] 5月15日 一次応募締切 6月 1日 書類選考結果通知 6月19日 二次選考(SPI・役員面接) 6月 末 選考結果通知(内定)	[第2回選考] 8月15日 一次応募締切 9月 1日 書類選考結果通知 9月18日 二次選考(SPI・役員面接) 9月 末 選考結果通知(内定)

### ●担当する業務のイメージ

JOCAでは、「地方創生」「グローバル人材育成」「国際協力」「地域国際化支援」と多岐にわたる事業を実施しており、たとえば、こんな資格や経験を持った先輩が活躍しています。

・保健師/看護師 ・理学療法士 ・管理栄養士 ・調理師 ・社会福祉士 ・介護士 ・保育士  
・スポーツ指導 ・国際協力活動 ・農林業



障がいを持った方や高齢者のサポート



配食や給食、地域拠点での調理等



多世代交流の保育園、子育て支援



地域の健康づくり支援



農園や牧場での作業



国際協力・国際交流の担い手



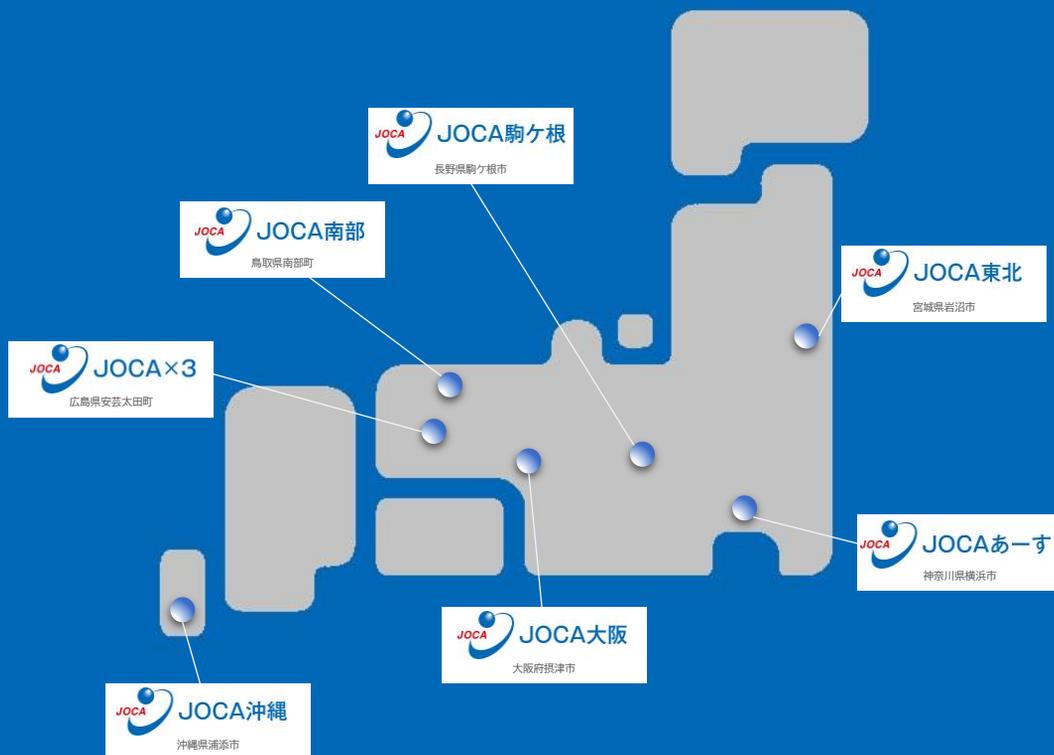
## 求める人材

ひとの気持ちに寄り添える人  
挑戦をやめることなく、あきらめない人  
人々と、社会に貢献したいという熱い気持ちを持つ人

私たちと共に歩む仲間を募集します。

## 全国に広がるJOCA拠点

全国7つの拠点を中心に、全国的な事業を実施しています。  
今後、北海道、九州、そして海外にも拠点を拡大していきます。



### 【申込先/問合せ先】

公益社団法人青年海外協力協会 人事チーム  
〒399-4112 長野県駒ヶ根市中央16-7  
E-mail: jinji@joca.or.jp TEL: 0265-98-0291 FAX: 0265-98-0838  
※8:30~17:00 土日祝日除く